

校 園 名：富山大学人間発達科学部附属幼稚園

キーワード：幼小連携 学びをつなぐ カリキュラム編成

先進的取組について

1. テーマ「幼児期から児童期への学びをつなぐカリキュラム編成を目指して」

2. 趣 旨

ここ 10 年来、問題とされている小1プロブレムの一因は、幼稚園・保育所と小学校との環境の差異にあるとも言われている。しかし、それは物的な環境のことだけではなく、子どもが幼児期にどのような力を付けているか、小学校ではどのようなことを学んでいるかについて、互いの捉え方に違いがあることも関係している。小学校の教員が入学までの子どもの日常の様子を認識し、幼児教育について理解を深めることで、子どもへの接し方はより適切なものになり得ると考える。一方、幼稚園の教員にとっても、授業参観という形ではなく実際に授業をして、小学校教育を認識することは、幼児期の終わりを迎えた子どもの育ちを確実なものにする上で大切なことである。また、新幼稚園教育要領においても、幼稚園・小学校・中学校・高校を通して育てたい資質・能力を意識し連携していく必要性が示されており、互いの教育を理解することは必須であると考えます。

以上のことから、子ども同士の交流活動からカリキュラム編成へと視点を移すための幼小連携の新しい試みとして、幼稚園の教員が小学校の授業を、小学校の教員が幼稚園の保育を体験するという取組を行っている。

また、幼稚園・小学校・大学の教員間で交換授業の事前検討会や事後の協議会を行っている。その中で出される意見、そして授業者の感じたことこそが、それぞれの教育を理解することにつながると考えている。初めての取り組みだ昨年度は、交換授業と合同研修会を中心に行い、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を意識した連携の在り方について考えた。今年度は、交換授業の回数や活動内容等、テーマや目的に沿った取組について、さらに検討を進めている。ここで得た成果を県内外に発信していきたいと考えている。

3. 内 容

- ・幼小交換授業や合同研修会を行うことにより、幼稚園、小学校のそれぞれの子どもの発達段階を確認するとともに、教育内容や付けたい力、関わり方や指導法等についての理解を深める。
- ・幼稚園教育要領及び小学校学習指導要領の改訂の趣旨を意識し、幼稚園修了期のアプローチカリキュラムや小学校入学期のスタートカリキュラムを作成していく。

問い合わせ先：富山大学人間発達科学部附属幼稚園 Tel.076-445-2812